

## 大阪府立工業系高校の新しい教育展開のため、 大阪府教育委員会と島津理化は連携協定を結びました。

大阪府教育委員会と島津理化は、これからの大阪府立工業系高校における人材育成に必要なデジタル技術や先端技術を取り入れた教育を展開してゆくために連携することとなり、2024年12月25日大阪府庁において協定を結びました。

協定内容としては大きく以下3点になります。

- 府立の工業系高校において先端技術、時代に即した人材教育に必要な提案に関する事。
- 備品などのグランドデザインに関する事。
- 大学及び産業界との連携した教育内容に関する事。

水野教育長から「工業系高校は大阪産業界の人材に貢献している一方で目覚ましい技術の進歩に応じた教育機器や産業機器をこれからの高校で実現していく事が課題と考えており、そのための実習機器・装置の検討を進めていきたい。大学や企業等でのコンサル実績を持つ島津理化と連携する事で、未来の大阪産業界における、ものづくり人材育成に大きく貢献する事を期待しています」との言葉がありました。

大阪府立工業系高校の教育充実のため、両者は今後、AIやIoT等の先端技術を取り入れた人材育成に必要な実習機器や備品の提案、グランドデザインに関することなど、具体的な連携を進めていく予定です。

[株式会社島津理化と連携協定を締結します。／大阪府（おおさかふ）ホームページ](#)  
[\[Osaka Prefectural](#)



水野教育長（左）と中井社長（右）